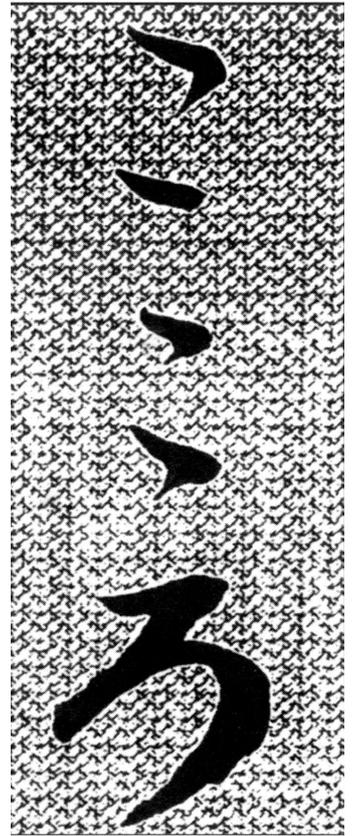


海外養成塾 コロナにより来年度に延期



洋大実業が船から飛行機に変更され、隔年にて実施されていた「兵庫県青年洋上大学 海外養成塾」。本来であれば今年度実施の運びとなることろでした。

しかし、世界各国で新型コロナウイルスの感染者が依然として増加している状況等を鑑み、海外への渡航は出来る状況になく、感染防止対策の先が見えない中、一年延期

の対応となりました。洋大同窓会としては、延期となった「第6回海外養成塾」についても、従前と同様に実施前年度から、事業についての支援を行って行きたいと思

発行所
兵庫県青年洋上大学同窓会
〒650-0011
神戸市中央区下山手通4-16-3
兵庫県民会館7階
TEL&FAX:078-891-7419
URL :http://hyogo-yodai.net/
E-MAIL :info@hyogo-yodai.net
発行人：大家 重明



〜あと1年で50周年！〜 皆さんに感謝し、明日への活動を！

大家会長



皆さん、いかがお過ごしですか？平素は、兵庫県青年洋上大学同窓会の活動に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

来年5月28日に設立50周年を迎えます。洋大実業と共に歩んできた同窓会は、社会ニーズの変化する中で、数々の変遷を経て今を迎えています。会員の皆さん、関係機関・団体の皆さんに支えていただき、感謝の言葉しかありません。

50年の節目を迎えるにあたり、洋大参加時の仲間、回生を超えて出会う仲間、私たちを支えてくれた仲間、その経験をもとに、地域等で活躍している多くの仲間の皆さんと共に、今一度、私たち一人一人が「いま」を「こころ」と「なにかま」を考

える時、また次に繋がる場になればと思います。先が見えないコロナ禍において、洋大同窓会の活動は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の期間には活動を休止。会議についてはオンラインにて開催してまいりました。今年度の活動テ

マは、「世代を結ぶ明日への航路(みち)」新しい生活・活動スタイルで〜とし、来年の設立50周年を見据え、また次の10年を考える年となるよう、今出来ることとして、創造力を発揮し、「ふれあい活動」は「ひようごスタイル」を取り入れ、新しい活動スタイルで事業を行います。

先人が築き上げて来られた半世紀に及ぶ歴史を振り返り、同じ経験をした仲間として、50周年を迎えられることに感謝し、明日に続く持続可能な活動を目指し皆さんと共に取り組みましょう。

夢を持って参加される洋大生の皆さんが、参加して良かったと思える「海外養成塾」の実施を期待しています。
大家重明(兵5阪神)

県内医療従事者に 支援金を届けました

新型コロナウイルス感染症が世界で猛威を振るい、県内でも収束が見通せません。4月から府県間をまたぐ移動の自粛や飲食店や大型小売店の休業など経済、生活に制限がかかりました。

平成3年、兵庫18回に企業推薦で参加しました。当時、勤めていた企業で推薦され洋大に行くので、とても誇らしく大きな期待を胸に参加しました。いざ乗ってみると、職業や年齢、性別に関係なく語り合い、目標に向かって団結し、異国での交流など様々な大きな経験しました。

にし縁

新しい活動スタイルで事業を行います。先人が築き上げて来られた半世紀に及ぶ歴史を振り返り、同じ経験をした仲間として、50周年を迎えられることに感謝し、明日に続く持続可能な活動を目指し皆さんと共に取り組みましょう。

船を降りた後、自身を向上させたい、今の狭い世界から飛び出したと感じ、同窓会室へ行き始めました。参加回生は違っても、洋大への熱い思いを持った会員との事後活動で、多くの方と知り合いました。刺激を受け色々な体験をし、一生の仲間と巡り合いました。そうした活動の経験を積み海外養成塾の青年スタッフとして参加もできました。洋大は、私にとっての人生、「こころ」そのものなのです。
橋本恵(兵18東播磨)
※次回山田民子(旧姓山本)さん(近21西播磨)です。

第1回地区代表者会報告

令和3年度 役員・顧問

会長	大家重明	(兵5)
副会長	村上友江	(兵6)
副会長	中川たみ子	(兵18)
副会長	松井豊仁	(塾2)
会計長	芦谷恒憲	(近11)
事務局長	新庄和文	(兵17)
神戸地区代表	大西 円	(兵29)
阪神地区代表	井上清吉	(兵26)
東播磨地区代表	大加茂健二	(兵29)
西播磨地区代表	長谷川和久	(兵32)
但馬地区代表	村上隆司	(兵25)
丹波地区代表	方山 薫	(勤4)
淡路地区代表	土井貴司	(兵32)
沖縄地区代表	國吉眞哲	(兵6)
監事	春名伸泰	(近11)
監事	永友健一	青少年本部
顧問	高橋守雄	(兵1)
顧問	板橋利喜造	(兵2)
顧問	山下剛史	(近11)
顧問	富永千世	(兵19)

令和2年度決算

(単位：円)

【収入の部】	
会費収入	176,000
事業収入	430,500
補助金収入	2,606,377
雑収入	12,012
引当金	411,514
計	3,636,403
【支出の部】	
基本事業	2,378,456
国際事業	22,440
青少年事業	571,366
社会貢献事業	200,000
引当金	464,181
計	3,636,403

令和3年度予算

(単位：円)

【収入の部】	
会費収入	320,000
事業収入	1,141,000
補助金収入	2,063,000
雑収入	12,000
引当金	864,181
計	4,400,181
【支出の部】	
基本事業	3,426,000
国際事業	74,300
青少年事業	586,000
社会貢献事業	101,000
引当金	212,881
計	4,400,181

令和2年度事業報告

月日	内容	場所
4月28日	第1回地区代表者会	書面開催
9月12日	日帰り型こどもの館	姫路市(県立こどもの館)
10月11日	日帰り型体感教室(芋ほり)	神戸市北区大沢町
11月1日	第2回地区代表者会	神戸市(県民会館)
3月14日	日帰り型体感教室(いちご摘みと科学工作)	神戸市北区大沢町
3月27・28日	宿泊型体感教室	姫路市(いえしま自然体験センター)

2021年度は新型コロナウイルスの影響で、Zoomによるリモート参加もあり、ハイテクで工夫を凝らした会議になりました。

令和3年度事業計画

月日	内容	場所
4月24日	第1回地区代表者会	神戸市(県民会館)
5月23日	新緑のつどい	神戸市(県民会館)
7月10・11日	但馬地区セルカバ	香住町
8月21・29日	日帰り型体感教室(科学工作)	神戸市(県民会館)
10月2日	街歩き【阪神地区】	尼崎市周辺
10月16・17日	第2回地区代表者会	未定
10月30日	日帰り型謎解きラリー	神戸市(みなとのもり公園)
12月4日	クリスマスアレンジ教室【神戸地区】	神戸市垂水区
1月16日	新春のつどい	神戸市(県民会館)
3月5日	日帰り型体感教室	神戸市北区周辺
3月26・27日	宿泊型体感教室	姫路市(いえしま自然体験センター)
未定	50周年沖縄交流	未定

※上記計画は、変更される場合があります。

「審議内容結果」
すべての議案が承認され、50周年を迎えるための役員改選、事業計画や予算が承認されました。「今年度の活動テーマ」
「世代を結ぶ明日への航路(みち)」
新しい生活・活動スタイルで」とし、現状のコロナ禍においても地域に密着した

自主的な活動を「ひようごスタイル」で進めていきます。「今年度の活動方針」
兵庫県下においても度々の「緊急事態宣言」の中、同窓会活動は休会。定例会もオンラインで実施し、自宅から参加の活動を行いました。継続し続ける事が、会員の信頼関



新庄和文(兵17阪神)

係を作り上げ、より確かな事業を作ることにつながります。これまで以上に工夫と新たな活動スタイルを取り入れ、50周年を迎える事業をいくつか進め取り組んでいきます。例年開催している行事・活動などは制限されていますが、50周年事業の会合の進み具合やプロセスは、ホームページや「こころ」で随時報告します。「こころ」で確認ください。同窓会の魅力ある財産は多くの会員が積極的に関わり築いた歴史、仲間づくりを未来に繋げるため一人ひとりの考えを計画に盛り込めるように様々なアクションを展開していきます。会員一人ひとりができることから始めましょう。あなたの小さな一歩から同窓会が変わります。みんなで盛り上げていきましょう。

新緑のつどい

初めての試みのYouTube配信の新緑のつどいの進行と言う大きな役を任せられました。新春のつどいで司会を務めたこともあり緊張する事はなく原稿を読み進むとイントネーションが関西弁…。兵庫県だから良いかなと一人解釈しながらカメラ3台に囲まれ進む中、本番で肝心な所を読み間違いのミス。

他のアクションも重なり結局、生配信は出来ず、他のメンバーに大変な迷惑をかけてしまいました。再編集をしてきたメンバーに申し訳ない気持ちで一杯でした。

TV局のように大仕掛けの色々な機材を見ながら、「番組を作るのは本当に大変だった」の一言ですが、貴重な経験を与えてくれた同窓会に感謝。素人集団なのに、何でもやり遂げてしまう同窓会ってすごい！と改めて感じました。次回の番組では、ミスなく笑顔いっぱいMCするよ！乞うご期待を。

橋本恵(兵18東播磨)
【5面に関連記事】

令和3年度 兵庫県青年洋上大学同窓会役員紹介



副会長
松井 豊仁



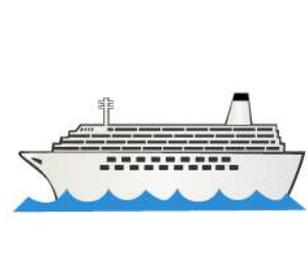
副会長
中川たみ子



副会長
村上 友江



会長
大塚 重明



監事
春名 伸泰



事務局長
新庄 和文



会計長
芦谷 恒憲



西播磨地区代表
長谷川 和久



東播磨地区代表
大加茂 健二



阪神地区代表
井上 清吉



神戸地区代表
大西 円



沖繩地区代表
國吉 眞哲



淡路地区代表
土井 貴司



丹波地区代表
方山 薫



但馬地区代表
村上 隆司



2日目は朝から雨。参

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、様々な行事が中止・延期された2020年度を締めくくる「いえしま体感教室」を3月27・28日に27名で実施しました。初日は、漁業体験で幕を開けました。底引き網による魚の水揚げを見学し、魚とゴミなどに分けると験をしました。普段、何気なく食べている魚が、海から陸に運ばれて私たちの手元に届くまでを自分の目で見る事ができる貴重な体験になりました。いえしま自然体験センターでは、カヤックやカヌーを体験。暖かい春の日差しの下、楽しい時間を過ごすことができました。

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、様々な行事が中止・延期された2020年度を締めくくる「いえしま体感教室」を3月27・28日に27名で実施しました。

コロナ禍で無事に開催！
「春のいえしまを体感する」

皆が常に笑顔で参加していて、何よりもその笑顔を見ることが嬉しかったです。このような状況下でも工夫をして無事に開催できたことは新しい活動スタイルの一例になったと感じています。
黒崎尚子(塾5東播磨)

加された7家族対抗で「しまリンピック」を開催しました。大人たちも子ども心を思い出して、本気で競争しました。外に出てのおやつ作りでは、野外で自分たちで焼いたパンは、とても美味しかったです。



【東京2020オリンピック 聖火リレー】

走行日：2021年4月14日

場所：大阪府・万博記念公園内



聖火ランナーの募集があったのは2019年の夏頃だったと記憶しています。「Tokyo」と開催地が決まってから、オリンピックに携われたら良いなあとなんとなく思っていました。開催が近づいてきましたが、やっぱり携わりたいたと強く感じました。

ボランティアを募集していましたが、条件に対して困難を強いられました。「厳しい！」と感じましたが、諦められない気持ちだったところ、ランナーの募集を目にしたのです。「これや！」と即決でした。応募に迷いはありませんでした。応募に際し、テーマがいくつかありましたが、私が選んだのは『地域と時をつなぐ』でした。オリンピックの聖火ランナーだから、スポーツの事

を書くのが普通かもしれないが、私は学生の時から続けている吹奏楽について書きました。選ばれた事は無いと思いますが、記念のつもりで気軽に書きました。いつしかランナー応募という事を忘れて、いかに吹奏楽のことが伝わるかに変わっていました。

応募してから月日が経ち、忘れた頃に知らせず突然やって来ました。『聖火ランナーに選ばれました』と。選ばれることは無いと思っていた私には信じられない知らせでした。オリンピックに聖火ランナーとして携われる事が純粋に嬉しかったです。「来年(2020年)は最高のオリンピックになる」と気持ちが高ぶった瞬間でもありました。年が明けて、中国で発生したとされる新型コロナウイルスが日本でも蔓延した事で、オリンピックは1年延期となり、聖火リレーも中止を余儀なくされました。シヨックでした。オリンピックは、聖火リレーは、どうなるのか。それが気がかりで仕方ありませんでした。しかし「既に選ばれたランナーは、ランナーの権

利を保持する」という事で、1年楽しみが伸びたと前向きに捉え、気持ちの準備を整えていきました。再度、「聖火ランナーに選ばれました」と連絡がきた時は、最初に連絡がきた時と同じ時期でした。権利を保持しているとはいえ、再度「選ばれました」とメールが来たことに改めて嬉しい気持ちが入り込んできました。これでしつかり準備ができる、徐々に気持ちを高めていきました。しかしコロナの影響は衰えることはありませんでした。

大阪市内の公道でのリレーを中止すると報道がありました。羽曳野市・藤井寺市では公道を走れると思っていました。しかし1週間前に「大阪府下は公道でのリレーを中止。万博で無観客実施」と報道があり、状況は劇的に変化しました。一体どうなってしまうのか。正直、全く予想がつきませんでした。報道は、自分にとってあくまで参考情報としてしか捉えていなかったからです。さらに、「まん延防止地域」から「まん延防止府県」への移動の方はPCR検査を推奨ということで、兵庫県から参加の私はPCR検査も余儀なくされました。検査結果が出るまでは生きた心地がしませんでした。幸い陰性でしたが…。

走行日の4月14日、所定の集合場所に行き、受付を済ませ、着替えを終えるとそのままオリエンテーションが始まりました。ランナー同士は、初めての顔合わせでした。1年越しに本来走るはずだった都市の自分の次のランナーさんと会えました。ようやく会えたことが嬉しかったです。

しかし、この時点で自分がどのスロットを走るのか分からない…。走行一時間半前。オリエンテーション終了後、走行スロットをようやくもらえました。走行約1時間前、「15分くらいで前後の人とトーチキスの打ち合わせをして下さい」と言われ、前走者の方と打合せをしました。後ろの方がいいません。どうやら車いすの方らしい。フロアを移動し、後走者の方とようやく対面できました。自己紹介をしてすぐ「私、トーチキスの推奨ポーズ



を石原さとみちゃんと一緒にしたの。このポーズしてもいい？」と。もちろんその推奨ポーズは知っていたので驚きを隠せませんでした。なんと、その方はパラリンピアンさん！凄い方だ。結局、事前の打ち合わせは、前後の方とほんの3分ずつしかできず、すぐの出發となり。バスに乗り、一人ずつ各ポイントへ降ろされ、あつという間に走行時間が迫ってきました。

前走者の方とトーチキスを終え、ようやく自分の走行が来ました。約2分間の200mは、ギリギリから来た聖火、世界中からの注目を独り占め、という感覚も全くなく、しかしながら楽しみながらも「オリンピック

クに参加している」という思いを体全体で表し、感じながら。走行後、次のランナーさんと東の間の楽しい会話を交わした後トーチキスを終え、私の聖火リレーは無事大役を果たし、大成功の3文字で幕を閉じました。楽しかった！その一言に尽きます。誰もが経験できないことを経験できたからです。今他府県の聖火リレーを毎日楽しく中継を見たいです。大阪府での聖火リレーは、コロナの影響で、1年の延長、公道の走行禁止からの万博での実施と様々な困難がありましたが、走行できるようにご尽力下さった大阪府や組織委員会の関係者の皆様に、ただただ感謝しています。

天野正志(塾4阪神)

洋大テレビ？ 『新緑のつどい2021舞台裏のお話』

毎年1月に開催している新春のつどい。今年は長引く新型コロナの影響で5月23日開催となり、名称を「新緑のつどい2021」に、また、初のライブ配信形式によるつどい開催となりました。

私は一昨年からリーダー・フォー・ライブの会場でユーチューブ・ライブ配信を行っており、その経験から今回のライブ配信担当を拝命しました。必要な機材を調達し、本番と同じ県民会館で1

撮影風景



回目の配信テストを実施したのは、3度目の緊急事態宣言が発出されて間もない5月3日のことでした。何とか配信できる目途は付いたものの一抹、どこるか二抹も三抹も不安が残りました。

開催前日の5月22日は、リハーサルと2回目の配信テストを目的に大家会長以下3名が臨みました。アナウンス原稿作成・変更、カンペ製作・変更、全て自分自身が行います。演出修正が何度も加わり、まるでテレビ局さながら。まさに「洋大テレビ」であります。

極めつけのトラブルは、テスト配信中に「本番配信URL」を誤って使ってしまったことです。当初は重く受け止めていませんでしたが、その夜インターネットで検索してみると一旦ライブ配信で使ってしまったURLは、同じURLで二度と配信できない、とのことでした。ようやく重大なミスに気が付きました。関係各機関・団体には既に本番配信URLを文書でご案内しています。さあどうする。本番当日5月23日は、

前日のトラブル挽回のため朝から4名が集結。兎に角、当会フェースブックでお詫びと配信URLの訂正をご案内することになりました。きっと、ユーチューブをライブでご覧になる方は、異変に気付いて当会のフェースブックを見に来てくれるに違いない、と都合の良い解釈をし、そう願いました。教訓として、このようなトラブルはユーチューブ・ライブ配信には付き物と心得て、次回以降は普遍的な「公式ユーチューブチャンネルURL」でのご案内をすることをしました。

そうこうする内に一刻一刻と本番の時刻が迫ってきます。結局、本番でも小さなミスをいくつかがしてしまいました。完全に自己嫌悪であります。タネ明かしをすると、ライブ前収録映像、ライブ本番映像、ライブ後収録映像、の中から、エエとこ取りをして再編集し、ユーチューブにアップロードしています。現在ご覧いただいているのは実はこの再編集映像です。ライブ配信は凝り出すと少々大変ですが、上手く出来上がる。この上ない快感を憶えます。テレビ局関係者の苦労と喜びが身に染みて分かりました。

このライブ配信方式を上手く使えば、新春のつどい、来年に迫った50周年記念式典、その他イベントに、遠方の会員諸氏ともライブで繋がり、疑似参加・疑似体験が図れるようになるのではないのでしょうか。現在のSNSでは多くの若者男女が静止画やスタンプのアップロードを難なく行っています。次は動画のライブ配信が当たり前になる世の中もそう遠くないはず。しかし、どうすれば動画のライブ配信が簡単に出来るようになるのか、やってみたくても、やり方が分からない、やってみても上手く出来ない、と悩む方も多いと思います。2016年に一分動画セミナーで、笑顔になって頂いた多くのセミナー参加者のことを思い出しました。再び我々がその一助になれるのか、コロナ禍に考えたいと思います。



て、改めて「ライブ配信」新緑のつどい2021」をご覧頂ければ幸いです。また、チャンネル登録も是非お願い致します。チャンネル登録をして頂けますと新しい動画がアップされた時に登録されたメールアドレス宛にお知らせが届くようになります。目指せ、チャンネル登録者数一千人超え！

春名伸泰(近11西播磨)



ライブ配信 YouTubeチャンネル

▼兵庫県青年洋上大学同窓会
公式ユーチューブチャンネルURL
<https://www.youtube.com/channel/UC4L4zftvIngVOMiG9V83h7Q>

▼限定公開 動画(15分)
【ライブ配信】新緑のつどい2021
<https://youtu.be/TZkh7qoTNKw>

ワクワク 「いちご摘み&科学工作」開催!

3月14日(日)今年度2回目の家族募集事業を神戸市北区大沢で開催しました。1月の新型コロナウイルスの緊急事態宣言発出の影響もあり、1週間の開催延期となりましたが、申し込みのあった9組の家族の皆さんには辞退されることもなく、元気にご参加いただきました。

当日はお天気もよく、いちご摘み体験ではハウスの中で沢山実ったいちごを摘みながら、お腹いっぱい食べました。午後は科学工作。当初の計画ではいちごを使ったデザート作りを考えていましたが、コロナ対応には必要になると思いますが、必要な対策はしっかりと行い、楽しめることはしっかりと楽しむで、やっていきたいと思えます。井上清吉(兵26阪神)

イベント情報

最新の情報は、同窓会HPをご覧ください

【問合せ先】

本部事務局 : info@hyogo-yodai.net

阪神地区 : hanshin@hyogo-yodai.net

「親子科学工作室」 夏休み親子で ロボットを作ろう

今回、2足歩行ロボットの製作を通して「電気モーター・発電機」の仕組みと応用が体験できます。ロボットが動くにはわけがあります。「モーターって何?」「乾電池を使用するのは?」「作り方は?」「どんな方法で動くの?」いろんな「なぜ」を親子で考え、製作し動かすことで、既製品と違って、科学的思考をストレートに感じ新鮮な驚きが芽生え楽しめます。是非参加してくださいね!

- ▼日時：8月21日(土)、29日(日)
- ▼会場：兵庫県民会館
- ▼対象：各回5組(大人1名、子ども1名(小学3年生〜中学生) 1名のペア)
- ◆なお同封の募集要項をご確認の上申し込んでください。詳細確認後参加決定します。
- 小さい秋見つけた! 阪神南編
- 神戸から尼崎まで阪神電車に乗って、街に隠れた秋を探しにいきませんか? 尼崎では地元の名物を味わったり、古い寺町や再建されたお城の境界を歩いて近づく秋を探します。街で意外な秋と出会う一日にしましょう。(新型コロナウイルスの感染状況によっては事業を中止する場合があります。)
- ▼日時：10月2日(土) 9時〜16時半
- ▼集合：JR三ノ宮駅
- ▼解散：阪神尼崎駅
- ▼参加費：2000円 (阪神三宮〜尼崎の片道運賃、昼食代、保険料込)
- ▼持ち物：歩きやすい靴、デジタルカメラ又はスマホ
- ▼申込：9月26日まで先着10名。
- 【問合せ】阪神地区井上

<http://hyogo-yodai.net/>

同窓会のホームページでは、事業の案内・報告など最新の情報を随時更新しています。また、Facebook、YouTubeにも随時、情報をアップしています。ぜひ一度、下記のQRコードからアクセスし、のぞいてみてください。また、ホームページ等へ掲載して欲しい情報も募集中です。 info@hyogo-yodai.netまでご連絡ください。



YouTube

Facebook

ホームページ

あなたの洋大の歴史を 同窓会でアーカイブします

これまで本部事務局では、こころ紙面でアーカイブデータを募集してきました。その結果、一部のアーカイブデータが集まりましたが、引き続きデータを募集しています。アーカイブ対象の品物は、船内新聞、個人で撮影した8、11フィロムやビデオ・写真、制服、しおり等です。

**定例会も
オンラインで**

毎週火曜日の19時頃〜21時頃、兵庫県民会館7階で定例会を行っています。現在は、通常の定例会と新型コロナウイルス対策のためのZoomを使ったオンライン定例会(20時〜21時)を状況により使い分けています。

50周年に向けて検討等も行っていますので、参加ご希望の方は必要なURL等を本部事務局までお問い合わせください。

山下剛史(近11神戸)

同窓会活動への 支援に感謝

同窓会では、活動をより充実したものにすため、皆様からの寄付を受け付けております。関心をお持ちの方がございましたら、ご連絡ください。ここで、令和元年度にご寄付いただきました皆様のお名前を順不同で紹介させていただきます。(敬称略)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|------------|-------------|------------|------------|--------------|-------------|
| 飯田 登代子 (兵1) | 家島 見枝 (兵30) | 位田 八恵 (兵8) | 一井 正彦 (近2) | 伊藤 憲吾 (兵2) | 井上 寛 (近15) | 井上 清吉 (兵26) | 井上 倍行 (兵9) | 魚井 利勝 (兵2) | 大砂 彰 (勤1) | 岡垣 恵美子 (勤1) | 岡田 敏寛 (兵1) | 榎 加津夫 (兵4) | 釜山 尚治 (兵1) | 北山 弘義 (近6) | 工藤 幸子 (兵1) | 小東 清治 (兵5) | 榊原 将太 (兵4) | 坂本 好也 (賛助) |
| 佐野 修 (兵5) | 鹿間 真生 (兵23) | 謝花 貫徹 (兵3) | 菅 三千代 (兵21) | 杉 一 (近22) | 瀬川 裕充 (近22) | 武田 政義 (近18) | 田村 暢一 (兵31) | 時里 敬三 (兵26) | 富永 千廣 (兵3) | 長岡 徹治 (兵2) | 中川 清司 (兵22) | 中川 たみ子 (兵18) | 中畑 庸一 (兵9) | 永廣 友紀 (兵26) | 萩野 一美 (兵1) | 橋本 清行 (兵2) | 濱崎 さとみ (兵19) | 濱寄 みつよ (兵1) |
| 原田 哲也 (兵9) | 平田 耕作 (兵3) | 藤田 博富 (近1) | 松永 千香 (兵18) | 三木 実 (勤2) | 村上 隆司 (兵25) | 村上 友江 (兵6) | 森本 吉治 (兵5) | 矢野 龍太 (兵15) | 横野 京子 (兵6) | 吉田 隆三 (近1) | 由本 勇人 (兵17) | | | | | | | |



- | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|-----------|-------------|------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 原田 哲也 (兵9) | 平田 耕作 (兵3) | 藤田 博富 (近1) | 松永 千香 (兵18) | 三木 実 (勤2) | 村上 隆司 (兵25) | 村上 友江 (兵6) | 森本 吉治 (兵5) | 矢野 龍太 (兵15) | 横野 京子 (兵6) | 吉田 隆三 (近1) | 由本 勇人 (兵17) |
|------------|------------|------------|-------------|-----------|-------------|------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|

編集後記

1年ぶりに岩手県大槌町を訪れた。かつて3年間、震災復興に携わった地であり、毎年3月に当時のメンバーと訪れている。今年は震災から10年、区切りの年ということもあり、どうしても訪れたかった。新型コロナウイルスの影響もあり、断念したメンバーも多く、最後までどうするか迷ったが、最終的に少数で訪問することとした。

やはり訪れて良かった。復興の工事自体は数年前に終わっているため、一見すると昨年から大きな変化は見えないが、よく見ると再建された家も増えているし、少しづつだが賑わいも増えているように感じた。懐かしい地元の方にも会うことができた。

10年たつて、基盤の復興工事は終わっても、個人での再建、こころの復興は、まだまだ時間がかかるのだろう。いつまで、こうやって訪れることが出来るか分からないが、少しでも復興に関わるものが出来たこの町の将来を、これからも自分の目で見続けたいと思った。